

# 学生と教員の見方



【アピールポイント】  
よく祖父の家で畑の手伝いをしています。最近、新鮮な野菜でさまざまな料理を作るのが楽しいです。

らの支援を活用することで初期投資の負担を軽減でき、企業はリスクを最小限に抑えつつ社会貢献を実現することができるとも。

【教員による展開】  
（山本卓教授）  
日本では高齢化社会が進む中、有料老人ホームへの需要は高くなっている。も

【学生の見方&考え方】

（4年 堅谷飛鳥）

日常生活の中で家の周りに高齢者向け施設が増えていくことを実感している。

日本は高齢化社会に直面しており、その対応策として老人ホームの導入がますます重要になっている。

企業の不動産戦略においても、老人ホームの導入は非常に重要なテーマである。

この戦略は、少子高齢化が進む日本社会において増加する高齢者のニーズに 대응すると同時に、企業の資産を有効活用するための一環としても効果的である。

老人ホームは、高齢者に安心・安全な生活環境を提

## 企業不動産戦略としての老人ホーム運営

提供する。健康で自立した生活を送りたい高齢者やその家族にとって、大きな魅力である。企業にとっては、老人ホームの運営を通じて社会的責任を果たしつつ、安定した収益を確保する手段となる。

## 遊休不動産活用で社会貢献

### 課題 物価高などで経営難化



老人ホームのイメージ（本文の内容とは関係ありません）

また、老人ホームの運営には、医療機関や介護サービス事業者との連携が不可欠である。企業は、このネットワーク構築により新たなビジネスチャンスを創出し、事業の多角化を図ることができる。

さらに、政府や自治体から

ムとして稼働している物件も存在する。

もう一つの課題として、有料老人ホームの経営の難しさがある。介護施設の運営においては、各施設ともさまざまな問題を抱えている。施設内で提供する食料や光熱費の急激な上昇、介護用品などが値上がりする一方、価格転嫁が難しく、こうした状況から、経営不振の小規模事業者を中心に、倒産が本格化する可能性が高まっている。今後さらに介護事業を取り巻く環境は厳しくなると考えられる。介護ヘルパーの不足や職員の高齢化、他社との競争の激化、介護報酬のマイナス改定など、さまざまな要因が重なり合っており、環境下に直面している。信頼できる専門業者に経営を委託するなどの選択肢も検討対象になる。